

様式第2号(第2条関係)

報告・評価シート

1 基本情報

設置主体	名称	株式会社いぶき	報告日	令和 5 年 2 月 22 日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		
事業所	名称	ウィズライフ創	評価日	年 月 日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		

事業所の運営方針	事業所は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 事業の実施に当たっては、関係市町、指定一般及び特定相談支援事業者、他の指定障害福祉サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
事業内容	事業所開設日 令和 2 年 2 月 1 日 利用者定員 19名（利用者 19名）・短期入所定員 1名（利用者 1名）

利用者概況	障害種別	身体 4 名	知的 13 名	精神 4 名	難病 0 名	※重複する場合はそれぞれに記載
	支援区分	区分 3 2 名、区分 4 7 名、区分 5 5 名、区分 6 5 名				
	日中の状況	主にグループホームで日中を過ごす方 19 名				
人員配置	日中	世話人 12 人(常勤換算 5.03 人)	生活支援員 8 人(常勤換算 5.6 人)		その他() 人	

	夜間	世話人 人	生活支援員 人	その他(夜間支援従事者) 9人 常勤換算 2.71人
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
支援体制の確保と支援の実施 ・日中サービスの提供内容や、他の日中活動サービスの利用状況、外出や余暇活動等の社会生活上の支援、相談支援事業所や他のサービス事業所等との連携等について	Aユニット9名【区分3:1名・区分4:3名・区分5:3名・区分6:2名+短期入所1名 生活支援員:基準配置92時間/週に対して96時間/週配置 世話人:基準配置時間80時間/週に対して91時間/週配置 Bユニット10名【区分3:1名・区分4:4名・区分5:2名・区分6:3名】 生活支援員:基準配置101時間/週に対して106時間配置 世話人:基準配置80時間/週に対して95時間/週配置 上記に加え各ユニットごとに夜間支援従事者を配置し24時間365日切れ目のない支援を提供できる人員を配置している。 ・入居者19名中区分5・6の利用者が10名、60代以上の利用者が3名 ・現入居利用者19名のうち18名が生活介護、1名が就労継続支援B型、訪問看護を19名が利用している。外部のサービスが利用できない日の支援及び活動については、グループホーム内において24時間の相談、健康管理、入浴、排せつ、食事の介護、その他の日常生活上の支援、レクリエーションの実施といった日中サービスを提供している。 ・担当相談支援専門員及び日中活動のサービス管理責任者等と連携し、利用者の希望に応じ、サービスの見直しを常に図り、令和4年度は1名が外部サービス利用型共同生活援助、就労継続支援B型事業所に移行した。 ・外出や余暇活動として以下を実施している。		日中、土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	
			重度化・高齢化等のニーズに対応しているか。	
			利用者の意向に反して日中サービス等の利用が制限されていないか。 適切なサービスの利用が図られるよう他の事業所等との連携が図られているか。	

	<p>買い物支援:1回/週(近隣のディスカウントストアやショッピングモール、コンビニ等)</p> <p>外出支援 2回/週(公園、施設周辺の散策、イベントや祭りへの参加等)</p> <p>移動販売車 1回/週(移動スーパーやクレープ販売車、パン屋)</p> <p>イベントの実施(誕生日会・花見・流しそうめん・花火・果物狩り・クリスマス会・餅つき等季節に応じて企画している)</p>	<p>利用者が充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援に努めているか。</p>	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>地域に開かれた運営</p> <p>・家族や地域住民との交流等について</p>	<p>・地域住民の方々への活動報告や広報活動として、月に1度開催されている民生委員の会合に参加している。昨年度同様、近隣の方が栽培している畑の作物の収穫体験を提案され参加することができた。</p> <p>・事業所を開放しての地域交流会を企画していたが、コロナウィルスの流行状況により中止した。</p> <p>・家族との交流については、家族会を企画していたが、令和4年7月～8月にかけて施設内においてコロナウィルスクラスターの発生、12月にインフルエンザの流行があり中止した。交流の機会は電話や手紙等による利用者及び家族との連絡相談、面会室での本人及び家族と面談・相談を行っている。翌年度以降、流行状況や県の指示により地域住民及び家族との交流を実施したい。</p>	<p>地域住民との交流の機会が確保されているか。</p>	
		<p>家族との交流の機会が確保されているか。</p>	

<p>短期入所の併設</p> <p>・利用状況や緊急時の受け入れの状況等について</p>	<p>・併設の生活介護を利用しながら将来的なグループホーム利用を検討している利用者の定期利用や、突発的な利用ニーズに対しても可能な限り情報収集し、緊急の職員ミーティングを行い対応している。</p> <p><緊急対応の事例></p> <p>・障害児入所施設を希望したが受け入れ困難とされ、在宅での対応が限界になり短期入所を利用。(10代前半男児)</p> <p>・在宅で母親が介護していたが、体調を崩し短期利用(30代男性)</p> <p>通常の利用5名 緊急的利用2名</p>	<p>地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。</p>	
		<p>緊急的利用のニーズに対応しているか。</p>	
<p>項目</p>	<p>【事業所記入欄】</p> <p>具体的な内容</p>	<p>評価の視点</p>	<p>【協議会記入欄】</p> <p>要望, 助言, 評価</p>
<p>職員の資質向上への取り組み</p> <p>・参加した研修や取得した資格等について</p>	<p>・委員会活動(虐待防止・環境衛生・事故防止・防災・感染症対策)を月に一度実施し、参加メンバーで協議した内容を職員に対して周知している。</p> <p>・社外やオンラインで実施された研修に参加した職員は、研修内容を伝達する目的で社内研修を実施している。12回/年</p> <p>・メンタルヘルスやハラスメントについて外部講師を招聘し研修を実施。</p> <p>・資格取得にかかる費用を全額補助している。</p> <p>介護福祉士試験2名 実務者研修2名 強度行動障害基礎研修3名</p>	<p>支援の質の確保に努めているか。(資格取得、研修等)</p>	

<p>その他</p> <p>・事業所独自の取り組み等について</p>	<p>・緊急時や災害時にも事業を継続できるよう、今年度よりBCPの作成を開始した。策定するだけでなく、実効性ある計画にするために平時より訓練を実施していく。</p> <p>・重度化、高齢化に対応することだけでなく、利用者の希望や強みを活かしてステップアップできるよう通過型のグループホームとしての機能を意識している。</p>		
<p>協議会からの要望、助言への対応(2回目以降)</p> <p>・要望・助言の内容及びその対応について</p>		<p>要望、助言に誠実に対応しているか。</p>	